

2025 年度 第 5 回 理事会 議事録 2025.9.27

日時：2025 年 9 月 27 日（土）13：00～16：00

開催方式：対面開催

場所：神奈川県横浜市中区真砂町 3-33 商業ビル「セルテ」9 階 901 会議室

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、奥原孝幸（副会長）、遠藤陵晃（副会長）望月強併（事務局長）、野本義則、青木啓一郎、佐々木秀一、神田崇央、神保洋平、佐藤隼、佐藤範明、山勢健太郎、村仲隼一郎、佐伯まどか、石川恵美子

出席監事：錠内広之、野々垣睦美

欠席理事：玖島弘規、澤口勇

I. 会長より挨拶

先日、第 20 回神奈川県作業療法学会が盛況で終わりました。御礼申し上げます。

今回の理事会では、8・9 月に行った行政との関わりについての報告もあります。

中間評価もあり、長丁場ですがよろしくお願いします。

II. トピックス（報告）

1. 代議員選挙について（選挙WG：田中副会長、選挙管理委員会：池田氏）

選挙管理委員池田氏より変更点、スケジュールについて説明。

今年度は推薦書の書式変更を実施。メールでの立候補受付を検討したが、規約の変更が必要であり、総会にて承認を得る必要がある。そのため変更については継続して検討していく。

2. 神奈川県立中井やまゆり園について（神保会長）

県庁訪問をきっかけに神奈川県福祉みらい局より、神奈川県立中井やまゆり園の立て直しについて OT の力を借りたいとの依頼があった。三役での対応結果を踏まえ、これまでの意見交換の内容について共有した。

9 月 29 日に現地を訪問予定（会長、副会長、事務局長）。

3. 県民ニーズアンケート調査結果からの今後の県庁との関わりについて（神保会長）

県民ニーズアンケート調査を踏まえた関わりについて、理事からの意見集約を行なった。

OT の強みとして MTDLP の生活に対してのマネジメントがあり、MTDLP 指導者の活用もできるのではない。県庁の期待として、生活に対してのアプローチがあり、OT の専門性が出せる領域。県士会として新組織体制の中で、MTDLP 推進育成課や地域社会振興部と連携して進めていけるよう検討していく。

4. 立憲民主党政政策要望ヒアリングについて（神保会長）

早稲田議員から高次脳機能支援法のつながりで、県士会にお声掛けがあり。

会長から当日のヒアリングの内容について説明。（別紙参照）

III. 審議事項

1. 人事考課・昇給制度について（事務局）

→賛成多数で承認

2. 会員管理システムについて（継続審議事項：事務局）

3 社からヒアリングを実施した（別紙参照）。

会員管理システム導入の可否について審議を実施。

→賛成多数で承認

3. 神奈川県保険医協会からの後援依頼（事務局）

→賛成多数で承認

4. 地域社会振興部からの部員申請（事務局）

→賛成多数で承認

5. 査読者選定内規について（規約部・学術部）

→賛成多数で承認

6. 研究助成事業について（学術部）

3件の募集があり、研究助成班において2件を採択した（別紙参照）。

→賛成多数で承認

7. MTDLP 推進育成課における事例検討会発表者に対する指導添削に係る通信費計上について（教育部：村仲理事）

→賛成多数で承認

IV. 報告事項（各部署・理事・三役）

1. 理事内情報共有システム（Googleworkspace）について（事務局）

非営利団体として登録済み、今後の方向性について資料を用いて説明。

10月中旬に理事も登録し、使用する機能を選定していく。

2. 事務局員募集について（事務局）

9月22日より、1名入職。7月より勤務していたスタッフ1名が退職。

3. スキルアップ研修班・福祉用具班コラボ研修会企画について（学術部・制度対策部）

コラボ企画として研修会を実施予定。研修会日程調整中。講師は地域社会振興部濱口氏を予定。

予算は学術部で計上。講師は地域社会振興部部員のため、地域社会振興部もコラボしていくか検討。

4. 第20回神奈川県作業療法学会 速報（学術部学会支援課）

9月20日 一般57名、OT29名、合計86名が参加。

9月21日 登録者336名、当日参加259名、当会会員216名、他県士会31名、他職種6名、学生52名が参加。次回理事会で最終報告を実施。

<佐々木理事>

現在オンデマンドで全プログラム配信中。10月中まで視聴可能。

機器展示は7社から応募があり、30万円の収益があった。それをランチョンセミナーのお弁当代にあてた。

Confitのシステムは良いが設定は自分たちで行うため今後検討は必要。

<野本理事>

県士会ブースについて、次回福利部から報告予定。

5. 基礎ポイント付与について（教育部）

協会と士会の認識に齟齬があった。MTDLP事例報告において、これまで当士会では参加と発表に対し2ポイントずつ（計4ポイント）付与していた。しかし、協会の指定する基礎研修ポイント規定の詳細とは合致せず、ポイントが付与されないことが判明した。したがって、この件の周知を県士会ウェブサイト、研修会当日のアナウンスを通し周知していく対応を行っていく。

6. 5歳児健診への作業療法士参画に関する意見交換会について（地域社会振興部）

資料を用いて説明。

7. 国際福祉機器展「ふくしの相談コーナー」への部員派遣について（制度対策部）

10月8日～10月10日に開催予定。福祉用具班で対応する。

8. 神奈川県精神障害者スポーツ大会について（事務局）

昨年度承認事項について昭和医科大学古賀氏より報告。今後継続して参画していく場合は、地域社会振興部で参画を検討。

【その他報告部署・理事】

1. 広報部

オンライン施設見学会を募集したが応募は0件。今後、広報の方法等も併せて検討中。

2. 制度対策部

災害の安否確認システムが現在運用中。GoogleFormの入力をお願いしたい。

3. 田中副会長

OT協会より倫理委員会の設置についての研修会が実施。詳細については議事録と合わせて今後報告予定。

V. 県士会事業中間評価

各部署、資料を基に進捗状況について報告。

<神保会長>

5月の定期社員総会で組織改編を実施。本格的に動き始めるのは下半期になる。

人材育成・エリア化の運用を検討していく必要がある。

<神保洋平理事>

学生会員について誰がコーディネートしていくのか。

<望月事務局長>

昨年度のワーキングでは、福利部に位置付ける方向になっていた。

今後の方向性として、学生会員については、学生会員も会員であり、昨年度のワーキング内でも福利部事業として実施していく予定であった。福利部内でも学生会員に対応していく班構成などを検討が必要。

事務局を含めた検討を、会員ワーキングで検討していく。

学生会員の特典も打ち出せるように検討が必要。

<佐々木理事>

学術部の研修会参加費について。

現在1000円、Zoomになったことで経費が少なくなっているため、安い金額の設定としている。

県外からも参加できており、次回の精神科の研修は参加者180名を見込んでいる。

今後の研修会費の設定はどうしていけばよいか意見を頂きたい。現状は講師の人数や時間に関係なく値段設定がされている。

<意見交換>

青木理事：参加者にアンケートをとっていても良いのではないか。

数値の目標等も併せて検討ができるのと良いのではないか。

田中副会長：費用や時間なども考慮し基準を作っていくのも良いのではないか。

村仲理事：MTDLPの基礎研修は9:00～17:00で1人5000円、30～40名の参加がある。

教育部で実施している研修会は、資格取得を目指しており少し形態は異なる。

→収益やスリム化など多方向から検討をしていく必要がある。

<佐伯理事（野本理事）>

エリア化の動向について、エリアミーティングの目的が不明確なため、参加しにくいのではないか。

<村仲理事>

MTDLP事例検討会3名、基礎研修30名前後の参加予定となっている。

<石川理事>

地域社会振興部の事業が多く上半期で把握している状況。

VI. 監事より

<野々垣監事>

担当部署以外に介入できない状況から、組織内での議論が出来るようになってきている。

視点が増えていく中で次年度の計画に反映できるように取り組んで頂きたい。

<錠内監事>

県土会の課題は時代のニーズに合わせて増えていく。一番の課題はウェブと認識している。

現在の運用は一部の部員に負担が集中しており、県土会の体制としても変更を検討する必要がある。

作田氏の功績に感謝しつつ、今後の対応を検討して頂きたい。

以上
事務局長 望月強併

議事録署名人	議長：	神保	武則	印
	理事：	遠藤	陵晃	印
	理事：	山勢	健太郎	印
	理事：	神保	洋平	印
	監事：	野々垣	睦美	印